

文化

日本遺産認定などの取り組み

米作り、二千年にわたる大地の記憶
～菊池川流域「今昔『水稻』物語」～



山鹿市・番所の棚田の風景(撮影日:7月17日)。秋には彼岸花があぜ道いっぱいに並びます



下町惣門会初代会長 井口圭祐さん

米をテーマに地域を案内する「米米惣門ツアー」を始めて17年。日本遺産認定を受け、菊池川流域の米作りとともに発展した東北の歴史や文化を併せて紹介しています。今後も地域の発展につながるようメンバーとガイドを続けていきます。

今年4月、菊池川流域が県内2番目の日本遺産に認定されました。流域には、平地の条里、山間の棚田、海辺の干拓地など、米作りを支えた人々の工夫や苦勞の跡が今も残されています。今後、これらの資源を活用した地域の活性化や文化財の魅力を多くの方に体感していただけるよう情報発信を積極的に進めていきます。

【日本遺産とは】
地域の歴史的魅力や特色を通して、文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定する制度。平成27年度に創設。平成32年までに全国で100件程度が認定される予定。

観光

地域資源の発掘・磨き上げ

「GO! GO!! キスマイクマモトオオイト」キャンペーン

JRおよび大分県とタイアップし、人気アイドルグループ Kis-My-Ft2を起用し、7月から12月までの6カ月間、観光キャンペーンを実施しています。



阿蘇神社で開催されたオープニングセレモニー。Kis-My-Ft2のメンバーや蒲島知事も参加

くまもとグルメタクシー

地震からの復興を支えるため、熊本が誇るたくさんのおいしさを伝える「くまもとグルメツーリズム」を展開。



県内のグルメスポットを巡る「くまもとグルメタクシー」。くまモンの飾りが目印です

くまもとグルメツーリズム 検索

新たな観光メニューの開発

県内各地ではそれぞれの地域資源を活用した魅力ある観光地づくりが進められています。海外からのクルーズ船観光客が多く訪れる八代城跡では、一般社団法人DMOやつしろが体験型の観光メニューを開発しました。御堀に浮かべた遊覧船からの見学や、人力車での街なか観光など、地域を満喫できる取り組みを行っています。



クルーズ船観光客でにぎわう八代城跡



大型クルーズ船「クワンタム・オブ・ザ・シーズ」



©2010熊本県くまモン

「阿蘇の草原」が国の文化財に



草原が広がる阿蘇・草千里ヶ浜

今年6月、国の文化審議会において、阿蘇の草原が「重要文化的景観」として答申されました。阿蘇地域に暮らす人々が、カルデラ火山の地形を活用し「野焼き・採草・放牧」を営むことで草原を守り続けてきたことが評価されました。この答申は、世界文化遺産登録を目指す「阿蘇」にとって、その歩みを前進させるものです。

なごみ紀行 検索

人吉市・青井阿蘇神社

相良700年が生んだ保守と進取の文化 ～日本でもっとも豊かな隠れ里一人吉球磨～

平成27年に、人吉球磨地域が日本遺産の第1弾として認定されました。人吉球磨の文化の礎を築いた相良700年の歴史に関する文化財の魅力を県内外に発信することで、地域の活性化を目指しています。



基盤づくり

道路ネットワークの強化

県土の基盤となる幹線道路ネットワークの整備などを進めています。また、震災により甚大な被害を受けた道路などの早期復旧に取り組んでいます。

熊本天草幹線道路の整備



工事が進む新天門橋(仮称、橋長463m、6月撮影)

熊本と天草との交流・連携強化のため、現在、宇城市三角町と上天草市大矢野町を結ぶ「大矢野バイパス」の整備を、平成29年度完成に向け進めています。

阿蘇長陽大橋の復旧



提供元:国土交通省九州地方整備局熊本復興事務所(6月撮影)

南阿蘇村の阿蘇長陽大橋を含む村道橋の木～立野線(阿蘇長陽大橋ルート)については、国土交通省が代行で復旧しており、8月27日に応急復旧により開通する見込み。

二重峠トンネル(仮称)の着工



工事が本格化し始めた国道57号の北側復旧ルート。今年6月には二重峠トンネルの着工式が行われました。